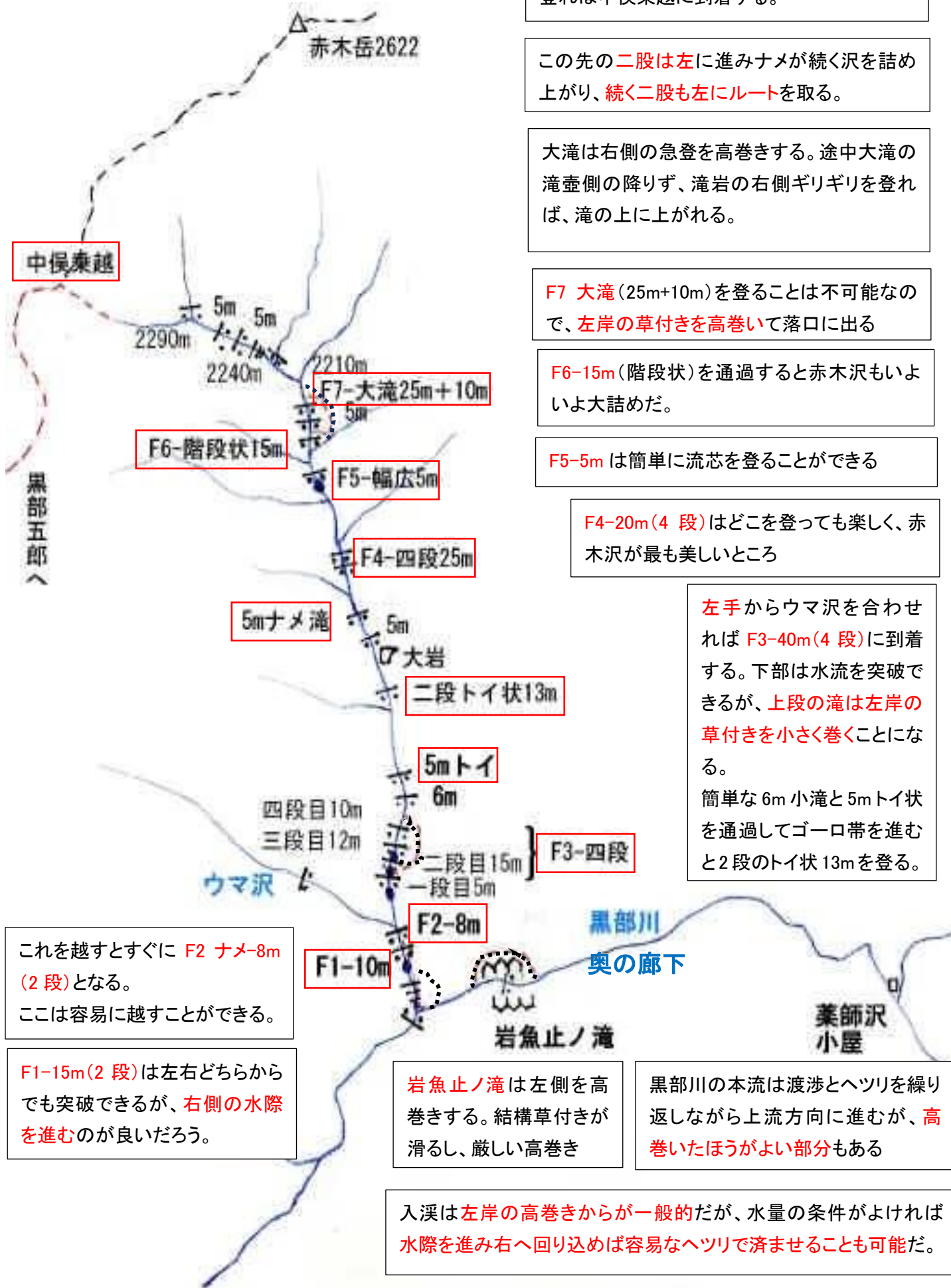


# 赤木沢遡行図



最後の二股は中心の小尾根か右手の枯れた沢を詰め上げ、ハイマツを避けて草付きを緩く登れば中俣乗越に到着する。

この先の二股は左に進みナメが続く沢を詰め上がり、続く二股も左にルートを取る。

大滝は右側の急登を高巻きする。途中大滝の滝壺側の降りず、滝岩の右側ギリギリを登れば、滝の上に上がれる。

F7 大滝 (25m+10m) を登ることは不可能なので、左岸の草付きを高巻いて落口に出る

F6-15m (階段状) を通過すると赤木沢もいよいよ大詰めだ。

F5-5m は簡単に流芯を登ることができる

F4-20m (4 段) はどこを登っても楽しく、赤木沢が最も美しいところ

左手からウマ沢を合わせれば F3-40m (4 段) に到着する。下部は水流を突破できるが、上段の滝は左岸の草付きを小さく巻くことになる。簡単な 6m 小滝と 5m トイ状を通過してゴー口帯を進むと 2 段のトイ状 13m を登る。

これを越すとすぐに F2 ナメ-8m (2 段) となる。ここは容易に越すことができる。

F1-15m (2 段) は左右どちらからでも突破できるが、右側の水際を進むのが良いだろう。

岩魚止ノ滝は左側を高巻きする。結構草付きが滑るし、厳しい高巻き

黒部川の本流は渡渉とヘツリを繰り返しながら上流方向に進むが、高巻いたほうがよい部分もある

入渓は左岸の高巻きからが一般的だが、水量の条件がよければ水際を進み右へ回り込めば容易なヘツリで済ませることも可能だ。